

「W-ZERO工法とは」



残土ゼロ・残置ゼロのダブルゼロ

「W-ZERO工法 5つのメリット」

1. W-ZERO工法は「利益が出る」

- ①経済設計で儲かる 複合地盤設計で杭長・本数が少ない
- ②施工が早く儲かる ほぼ1日施工

2. W-ZERO工法は「初期投資が安い」

- ①入会金30万円、研修費30万円 ⇒ 60万円
- ②専用機材を取り付けるだけ ⇒ 約250万円

3. W-ZERO工法は「トラブルがない」

- ①土圧がなく、擁壁や塀などを壊さない
- ②セメントなしで汚さない

4. W-ZERO工法は「やさしい」

- ①施工が早くて簡単で易しい
- ②環境に優しい

5. W-ZERO工法は「残土・残置がない」

- ①残土が出ない
- ②完全撤去できる

施工スピードの目安

$$(3分 \times 1本当り) + (1分 \times 杭長) = \text{施工時間/本}$$

(例えば) 杭長4mを26本施工する場合

$$1本当り \Rightarrow (3分 \times 1本当り) + (1分 \times 4m) = 7分$$

$$26本 \times 7分 = 182分(3時間2分)$$

わずか

施工時間
3時間2分

柱状改良との配置比較（杭本数の違い）

【W-ZERO工法】

鋼管長：4m 本数：**26本**

総鋼管長：**104m**

施工日数1日（3時間2分）

【柱状改良】

改良長：7m 本数：**32本**
φ500 固化材：14t

総改良長：**224m**

施工日数2日

W-ZERO工法の場合は、建物外周部に配置、可能な限り均等に配置。
柱状改良より本数が減り、総杭長が短くなる傾向にあります。

W-ZERO工法 導入費用

(金額は税抜き)

初期費用	金額	備考
入会金	¥ 300,000	
W-ZERO工法専用機材	約 ¥ 2,500,000	施工機により変動します
導入研修費	¥ 200,000	設計・営業研修
施工研修費	¥ 100,000	初現場での施工研修
合計	¥ 3,100,000	

その他費用	月額	年額
サポート費	¥ 10,000	¥ 120,000

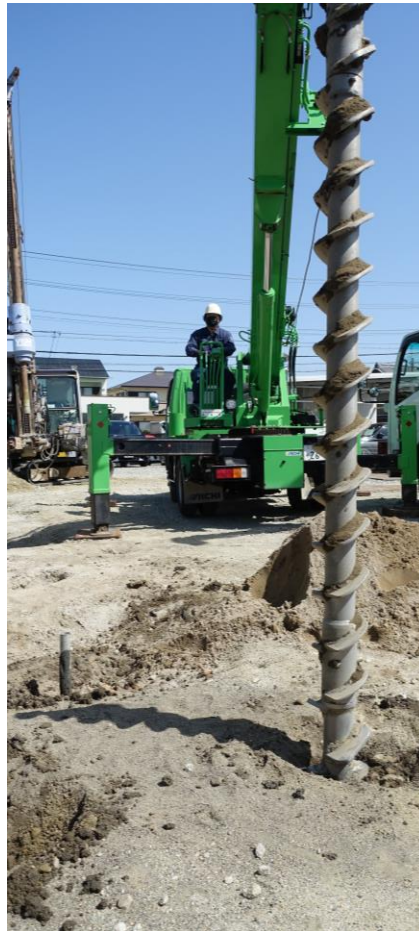
※サポート費用とは、設計的・技術的な問合せなど指定施工会社からの問合せや住宅会社、設計士等からの質問に対応するための費用です。

土圧がない！

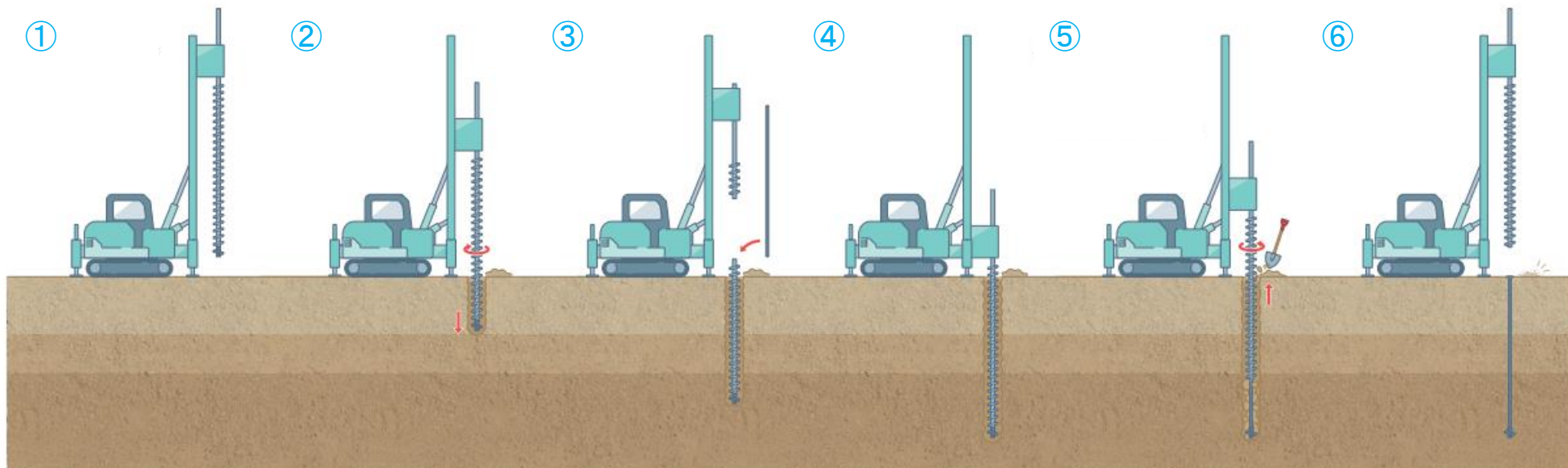


ブロックの際で施工が可能

W-ZERO工法用機材



W-ZERO工法の施工概要



①
先端ピース
のセット

②
回転圧入

③
細径鋼管を
挿入

④
ロッド再接続、
目標深度まで
回転圧入

⑤
先端ピースを
切り離し、
ロッド引上げ

⑥
回転圧入完了

W-ZERO工法用材料

【先端ピース】

- ・Dw: 230mm、t: 10mm
- ・重さ: 約5.5kg
- ・1種類のみ



【先端ロックピン】

- ・細径鋼管と先端ピースを接続
- ・事前に細径鋼管に装着



【細径鋼管】

- ・溶解亜鉛メッキ
- ・径48.6mm
- ・厚さ: 2.4mm

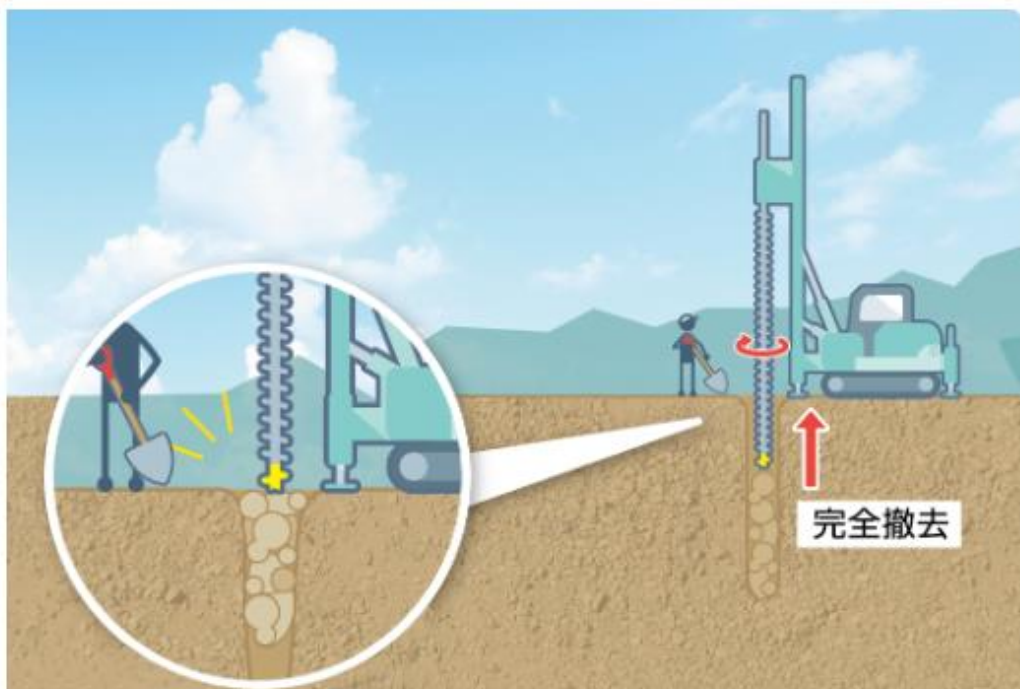


【頭部キャップ】

- ・打設完了後のフタ
- ・1種類のみ



補強材の完全撤去



W-ZERO工法は、補強材（先端ピースと細径鋼管）を撤去することが可能です。

地中に埋没物を残さず、

杭を完全撤去できるため、土地の資産価値を守り、
環境にも配慮しています。

W-ZERO工法協会は SDGsに貢献します

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



W-ZERO工法は、残土を発生させず、完全撤去可能な環境にやさしい技術です。

11 住み続けられる
まちづくりを



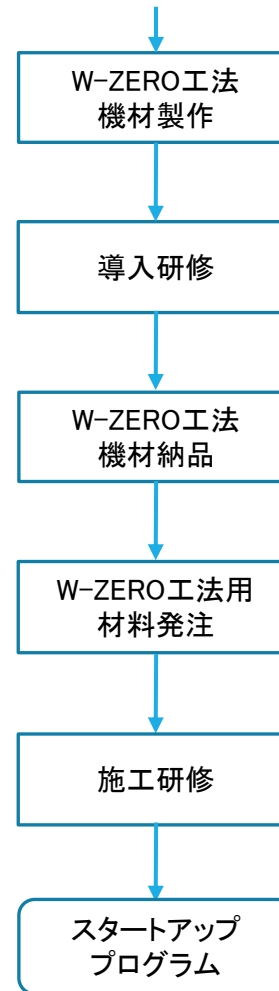
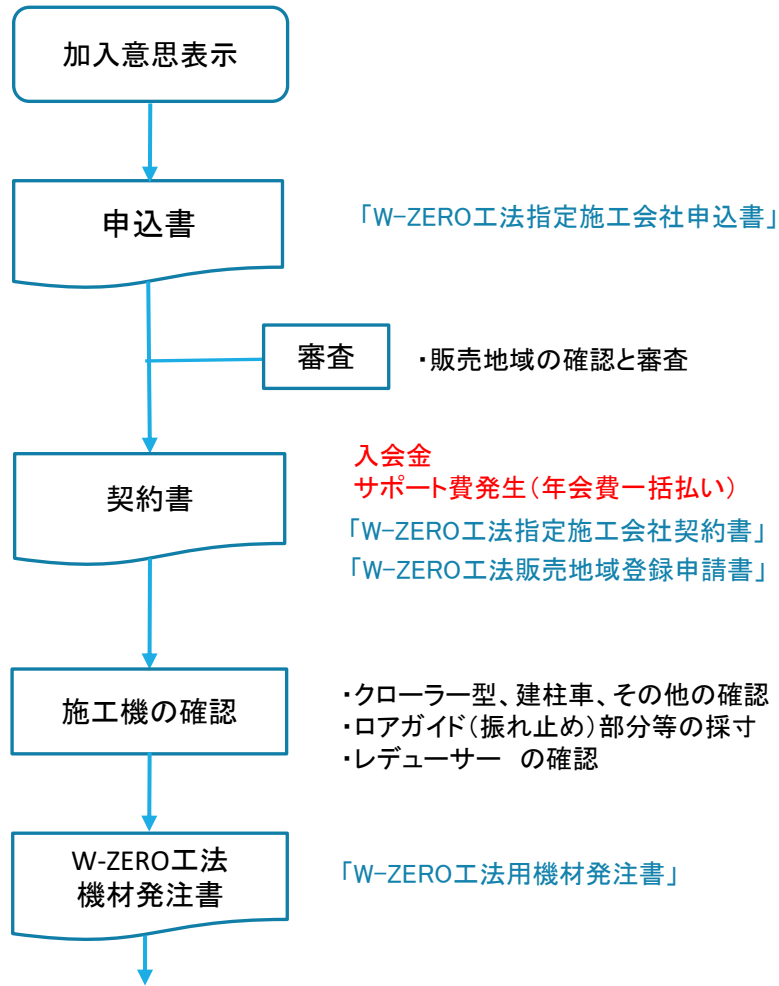
W-ZERO工法は、土地の力を生かす新発想で、他工法に比べて、経済設計になります。

12 つくる責任
つかう責任



W-ZERO工法は、資産のリサイクルを通じて、産廃物の発生削減につなげていきます。

加入手順



・納期は1ヶ月～1.5ヶ月

研修費

- ・設計研修: W-ZERO工法説明、設計方法
- ・営業研修: W-ZERO工法の営業
- ・Kitoneシステムの説明(設計/設計確認、資材発注)

納品運搬費

- ・機材セットアップ、試験打設、打設した杭の回収

・Kintoneシステムで材料発注

施工研修費

- ・指導員による施工指導 @初W-ZERO工法現場

- ①施工見学会開催 : 住宅会社向け施工見学会開催
 - ・協会が立会、説明
- ②同行営業 : 住宅会社への同行営業
 - ・協会が同行し、工法説明を实践